NIE実践報告

1．タイトル：将来必要となる国語力・社会力の育成における新聞の効果的な活用

2．学校名

刈谷市立刈谷南中学校

3．実践者名（代表者名）

木下　大介

4．学年

特別支援学級1年生～3年生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科、社会科（学級９名）

6．単元（本時の学習課題）名

愛知県MAPを完成させよう

7．目標(狙い)

社会の様子や地域に関心と理解を深め、将来の日常生活に必要な国語力を高める生徒の育成

8．評価の視点

・新聞から身近な地域や社会の様子に興味をもち、意欲的に記事を読むことができる。
・新聞記事から得られた情報や資料をもとに、愛知県の今日のニュースとしてまとめることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「身近な地域調査～愛知県を調べよう」

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①・新聞を見て、どんなジャンルの記事があるか、分かったことを出し合う。
　・天気、地域のニュース、顔写真、スポーツなど多くのジャンルの記事を切り取りノートにまとめる。
②・新聞記事から自分の知っている漢字を探し、漢字ノートにまとめる。
　・新出漢字は読み方や意味を辞書を活用して確認する。また、繰り返し練習する。
③・記事を読んで、いつ、どこで、だれが、何を、どうしたを考え、ノートにまとめる。
④・統計資料や資料集を活用し、愛知県内の市町村の特徴をカードにまとめる。
　・愛知県の農業、工業、歴史、自然等の特徴について話し合う。
⑤・愛知県の主な市町村を地図帳を参考に白地図に書き込むことで位置と名前を確認する
　・身近な市町村名と位置をゲーム形式カルタを使いみんなで確認する。
⑥・スポーツ、笑顔、動物などテーマに沿った記事を見つけ、スクラップとしてまとめる。
　・多くのジャンルの記事に触れることで興味・関心を広げる。
⑦・愛知県内の記事を見つけ、壁新聞にまとめる。また、愛知県の特徴を考えることで興味・関心を広げる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「僕の見つけた記事は、読売新聞11月25日版、見出しは「心身癒す　木曽馬の里」です。この記事を選んだ理由は、僕も乗馬をしていたことがあり、馬が大好きだからです。将来、僕も木曽馬に乗ってみたいと思いました。みんなも乗ってみてはどうですか？」（生徒の感想）

12．成果と課題

・新聞を活用することで、書く力、読む力の育成につながった。また、新聞記事を読むことで、自分たちの住む身近な地域のこと、日本のこと、世界の様子について興味を広げることができた。発表する場面を設定することで、見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などを相手に分かるように話す力（コミュニケーション能力）の育成にも力を入れたい。